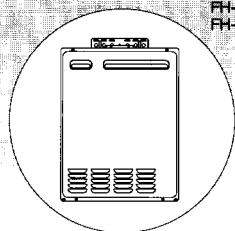


ガスふろ給湯器

FH-242AWD
FH-242AWD3
FH-242AWD3-2
FH-242AWD4



- 131-P800型 (屋外壁掛形PS標準設置形)
- 131-P802型 (PS扉内設置形)
- 131-P803型 (PS扉内前方排気延長形)
- 131-P804型 (PSアルコーブ設置形)
- 131-P805型 (PS扉内後方排気延長形)

取扱説明書

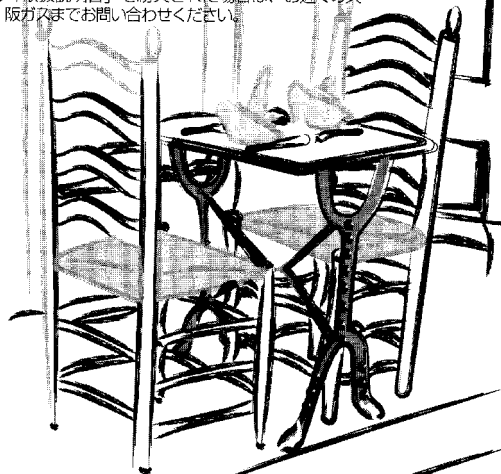
保証書付

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、いつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くの大阪ガスまでお問い合わせください。



もくじ

はじめに

各部のなまえ	1
特長	1
現在時刻を設定するには	2
必ずお守りください	3
準備と確認	8
それぞれのリモコンでできること	9

使いかた

お湯を出すには	11
自動運転するには	13
おふろをあつくるには	
追いき編	15
沸かし直し編	16
おふろをぬるくするには	17
おふろにお湯をたすには	18
予約運転するには	19

便利な機能あれこれ

おふろと台所の通話のしかた	20
ボイスガイド/操作確認音の	21
音量調節のしかた	
通話の音量調節のしかた	21

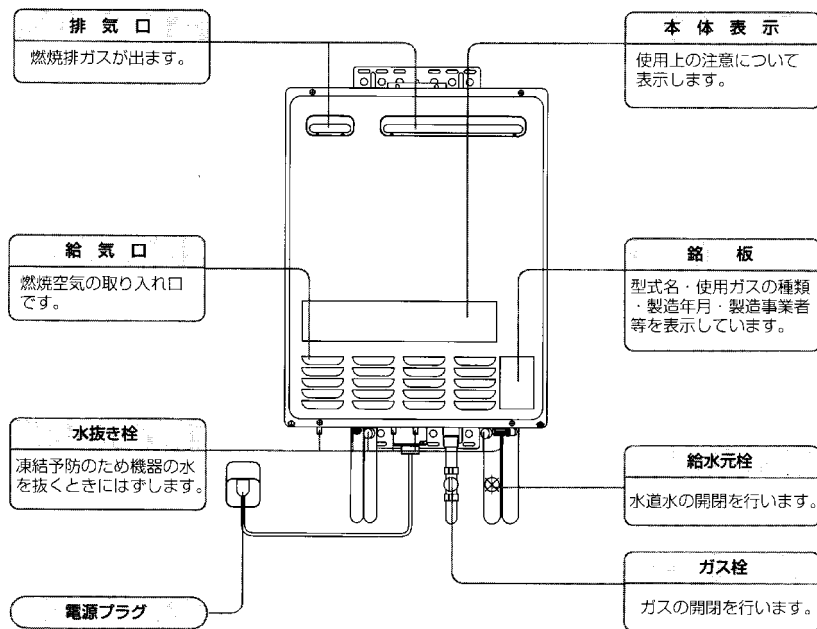
上手にを使って長持ちさせるには

点検とお手入れ	22
故障かな?と思ったら	23
凍結を防ぐには	25

仕様/アフターサービス

仕様	27
保管とアフターサービス	28
お問い合わせ先	29
保証書	巻末

各部のなまえ



特長

- スイッチポンでお湯はりでき、お好みの温度・湯量に達すると自動ストップ。
その後最長9時間、いい湯加減を保ちます。
- 「あつめ」「ぬるめ」「たし湯」スイッチで、お好みの温度・湯量合わせが簡単です。
- 台所リモコン（別売品）は予約タイマー付き。
お好きな時間にお湯はりできます。

現在時刻を設定するには



●●●●● 知っておいてね ●●●●●

- 現在時刻設定は台所リモコンで行い、浴室リモコンにも表示されます。
浴室リモコンのみお求めの場合は現在時刻の設定表示はできません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、時刻表示は、停電前の時刻表示に戻ります。
再度設定を行ってください。
- 電源投入時、または通電後リモコンの設定が可能になるまでに約13秒かかります。

1 リモコンのふたを開け、「時刻合わせ」スイッチを押す

時刻が表示されます。

0:00

2 時刻を合わせる

押し続けると連続して変わります。

例「午後8時10分」のとき

20:10

3 「時刻合わせ」スイッチを押す

設定完了後、消灯します。

はじめに
浴室リモコン、台所リモコンどちらも「切」にする

台所リモコン、浴室リモコンが「切」の場合は時刻表示は消灯しますが、お好みにより常時点灯に変えることができます。

① 温度設定ボタンを押しながら

温度設定

② 給湯ボタンを押す

- 操作はそれぞれのリモコンで行ってください。
両方同時には変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的
な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



発火注意



感電注意



高温注意



必ず行う



電源プラグ
を抜け

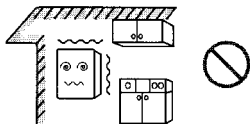


アースを
接続せよ

危険

屋外式機器

この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない
→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。



ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。
- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる
- ②お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスに連絡する。



警告

機器の設置（および付帯工事）

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する
→安全に使用していただくためです。



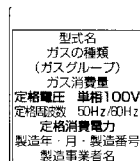
警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する

→表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

電源はAC100Vを使用する

*わからない場合はお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスに連絡する



設置後、機器や排気口を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



お風呂を沸かしているとき（沸かし直しているとき）や追いだきしているときは、浴そうの循環アダプター付近が熱くなるので注意。また自動運転中は定期的に追いだきするので注意する

→高温のお湯が出るためやけどのおそれがあります。



シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることもあるため、手のひらで湯温が安定したことを確かめてから使う

→やけどのおそれがあります。

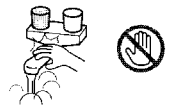


やけど予防のために出始めのお湯は体につけない

→お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際に一瞬熱いお湯が出る場合があります。



給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意する



シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。



入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する。追いだき中や追いだき後は十分にかきまぜてから手で湯温を確認する

→やけどのおそれがあります。



警告

異常時の処置

- ① 点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス栓を閉める
- ② 「故障かな?と思ったら」23～24ページに従い処置する
- ③ 上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスに依頼する

地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止しガス栓および給水元栓を開める



修理技術者以外の人 は絶対に分解したり 修理・改造は行わない

→異常作動してけが
の原因となります。



浴そうで水に潜ったりしない 子供を浴室で遊ばせない

→思わぬ事故につながる場合があります。
*特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。



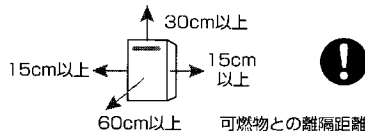
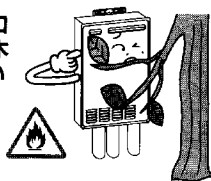
ガス接続(ガス事故防止)

この機器はネジ接続です。ガス接続工事はお
買い上げの販売店またはガス事業者にご依頼
ください。



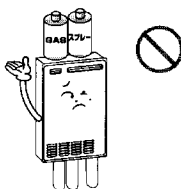
機器および排気口
の周囲には紙や木
材など燃えやすい
ものを置かない

→火災の原因
になります。



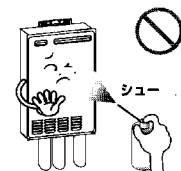
機器の周囲や上に
スプレー缶、カセ
ットこんろ用ボン
ベなどを置かない

→熱でスプレー缶の温
度が上がり、スプレ
ー缶が爆発するおそ
れがあります。



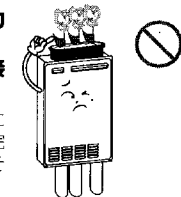
機器の周囲ではス
プレー、ガソリン、
ベンジンなど引火
のおそれのあるも
のを置いたり使用
したりしない

→引火して火災のおそ
れがあります。



機器本体に無理な力
を加えない。
機器本体やガスの接
続口などに乗らない

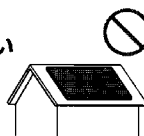
→けがや機器の変形に
よるガス漏れや不完
全燃焼、故障のおそ
れがあります。



警告

この機器をソーラー
システムに接続しない

→ご希望の温度より高い
お湯が出てやけどをす
ることがあります。



電源コードを引っ張って電源プラグを
抜かない

→電源コードを引っ張ると断線して発熱や発火
の原因になります。



電源コードを加工したり無理な力を加
えない。コードをたばねて使用しない

→感電、ショートや発火による火災のおそれ
があります。



注意

温泉水や井戸水・地下水を使わない
上水道を使用する

→水質によっては機器の破損および水漏れの原因
となります。

*温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生
じた故障についての修理・補修費用は保証期
間内でもお客様の負担となります。

使用中や使用直後は、排気口とその周
辺は高温になっているので、手を触れ
ない

→やけどのおそ
れがあります。



電源プラグは根元まで完全に差し込む

→差し込みがゆるいと感電や火災の原因になり
ます。



ぬれた手で電源プラグを触らない。
すでに雨が降り出している場合は、電
源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。



電源プラグやコンセント、電源コード
が痛んでいるときは使わない

→感電や火災の原因になります。



電源プラグはほこりをふき取る

→発火の原因になります



給湯・シャワー・追いだき以外の用途
には使用しない

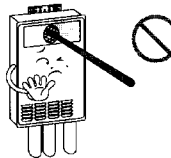
→思わぬ事故の原因となることがあります。

この機器はアースが必要ですアース
されていることを確認する



排気トップに
指や棒を入れない

→故障やけがの原因
となります。



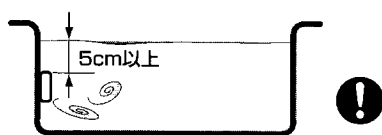
おねがい

家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

浴そうの湯量に関する注意

追いだきするときは、浴そうの湯量が循環アダプターの上端より5cm以上あることを確認してください。湯量が少ないと、安全のため追いだきしないことがあります。



電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますから、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。



飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

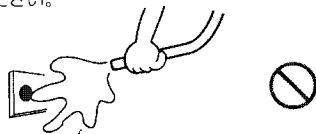


補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

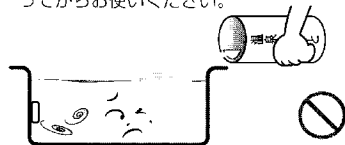
リモコンの注意

- ・リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- ・浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンは防水タイプではありません。
- ・リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。



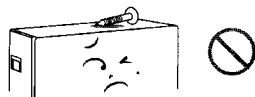
薬用入浴剤や洗剤のご使用について

- ・硫黄、酸、アルカリを含んだ薬用入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので使用しないでください。
- ・入浴剤や洗剤は注意文を十分にお読みになってからお使いください。



本体の上に金属製の物を置かない

本体がさび、穴あきなどの原因になります。



おねがい

雷時の注意

雷が発生し始めたら速やかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（またはブレーカーを落としてください。）雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にしてください。長時間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

水をお使いのときは

リモコンを「切」にして給湯栓側で水を使用したりシャワーを浴びたりすることは、故障の原因になりますのでお避けください。水をお使いのときは必ず給水栓側を開いてください。

日常のお手入れ

浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。

入浴時の注意

- ・浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。故障の原因となります。
- ・追いだき中や追いだき後の入浴時には十分かき混ぜ、手で湯温を確認して入浴してください。やけどのおそれがあります。

排気口の周囲

排気口からの排ガスによって過熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を置かないでください。

停電・断水のときは

停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。（通電・通水後はあらためて操作してください。）

断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

- 通電後リモコンの設定が可能になるまでに約13秒かかります。

準備と確認

*電源（AC100V）を入れた直後（20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。



給水栓を全開にする

ツマミは左に止まるまでまわし、必ず全開で使用してください。





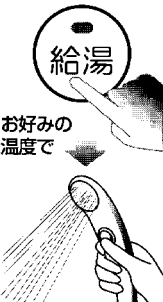

ガス栓を全開にする

必ず全開で使用してください。










電源プラグをコンセントに差し込む

それぞれのリモコンでできること

使う場所		台所・洗面所・浴室		浴
使 い か た		お湯を出す (11, 12ページ)	自動運転 (沸かし直し) (13, 14ページ)	自動運転予約 (19, 20ページ)
操 作 方 法	台所リモコン (別売品)		 台所リモコンで あらかじめ現在 時刻と予約時刻 を合わせておき ます。	
	浴室リモコン (別売品)		 浴室リモコンで あらかじめ温度・ 湯量・保温時間を 設定しておきます。	浴室リモコンで あらかじめ温度・ 湯量・保温時間を 設定しておきます。

※浴室リモコンのみの場合は、「時刻設定（時刻表示）」「自動運転予約」「だれかと通話する」機能

室				台所・洗面所・浴室
もう少し熱いお風呂に 追いたきする (15ページ)	ふろ設定温度まで 沸かし直す (16ページ)	ぬるくする (17ページ)	お湯をたす (18ページ)	だれかと通話する (20ページ)
				 押しながら話す
				 押しながら話す

は使用できません。

お湯を出すには



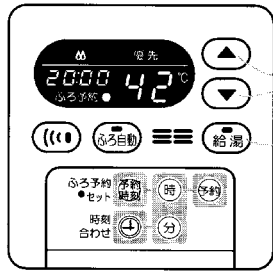
ここでは台所リモコンで
ご説明します。

警告

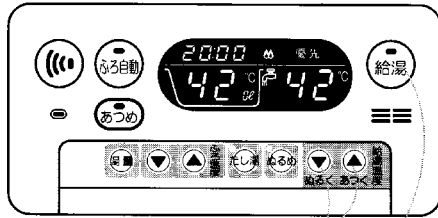
お風呂でお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの
給湯スイッチを押して優先にする

→優先にしないと台所リモコンで勝手に温度を変えられて
やけどのおそれがあります。

*なお、台所リモコンで勝手に温度を変えられた場合、浴
室リモコンの温度表示およびボイスガイドで変更の案内
をします。



2
1



2
1

知っておいてね

- リモコンを「切」にするときは、「給湯」スイッチを3秒以上押し続けるともう一方のリモコンも「切」
となります。
- 2箇所以上で同時に湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によっ
ては、ほとんどお湯が出ないことがあります。
- お湯はり・たし湯中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。
- 「ぬるめ」中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると水が出ます。
- 電源投入時、または通電後リモコンの設定が可能になるまでに約13秒かかります。

1 「給湯」スイッチを押す

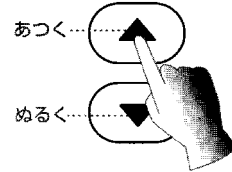


(初期設定は42℃) 前回設定の温度

給湯温度を60℃に
変更された場合は、
「熱いお湯がでます」
と案内します。



2 温度を調節する



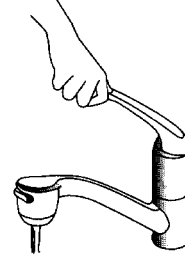
- 38℃～45℃の間は押し続けると連続して変わります。それ以降は46、47、48、50、60℃と変わります。
- 設定を記憶します。

優先表示確認



調節後の温度

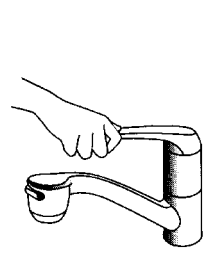
3 給湯栓を開ける



燃焼確認ランプ点灯



4 給湯栓を閉める



燃焼確認ランプ消灯



温度のめやす

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
ややぬるめ				適温				ややあつめ				あつい

★表示の温度と実際の温度は設置
条件(季節・配管長さ等)によ
り必ずしも一致しません。表示
の温度はめやすとしてください。

優先とは複数のリモコンがある場合に、優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができ
ることです。お風呂ではいつも快適な入浴が楽しめるように、浴室リモコン優先中は台所リモコン
では勝手に温度が変えられないしくみになっています。

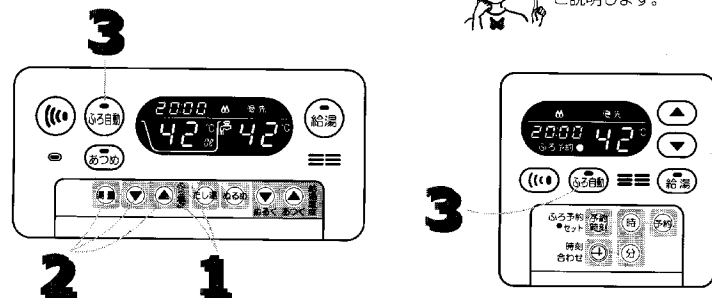
浴室リモコンが優先のおはなし



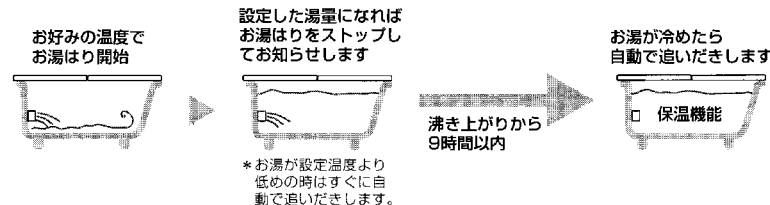
自動運転するには



ここでは浴室リモコンで説明します。



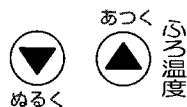
「自動運転」・・・自動スイッチを押すと次の動作を機器が自動で行います。



運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める
2. 浴そうの循環アダプターに付いていることを確かめる
3. 浴そうのふたをする

1 ふろ温度を調節する

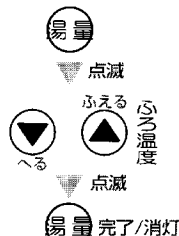


- 38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
- 設定完了3秒後に消灯します。
- 設定を記憶します。



前回設定の温度 (初期設定は42℃)

2 ふろ湯量を調節する



- 100ℓ～300ℓまでは20ℓずつ、それ以降は350ℓ、400ℓ、450ℓ、500ℓ、990ℓで調節できます。
- 初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴そうを基準にしています。
- 設定を記憶します。



前回設定の湯量

知っておいてね

- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり時間が長くなる場合があります。
- お湯はり中に湯はりや燃焼を中断することがありますが、これは浴そう内の残り湯を排出するため異常ではありません。
- お湯はり中に給湯栓から浴そうにお湯を入れたりするとお湯があふれることがあります。
- お湯はり中は、あつめ・たし湯・ぬるめは行えません。

3 「ふろ自動」スイッチを押す



燃焼ランプ点灯



沸かし直し

- 残り湯を沸かし直したいときも、「自動運転」と同じ手順を行います。お湯が減っている場合は設定湯量までたし湯したうえで設定温度に沸かし上げます。(たし湯不要の場合は16ページ参照)
- ★残り湯が浴そうの循環アダプターの上部5cm以上に満たない場合に自動運転を行うと、残り湯を排出せず、設定湯量に対して残り湯の分だけ湯量が増えるため、浴そうからお湯があふれる場合があります。
- ★設定温度付近のお湯が残っている状態で「自動運転」を行うと、たし湯しないことや、湯量が多少ばらつくことがあります。

保温運転

お湯はり終了後、自動的に保温運転に入ります



給湯温度表示消灯

保温時間を変えるには (0～9時間の間で選びます。)



保温時間が消えると設定完了
● 設定を記憶します。

- お湯が冷めたら設定温度まで追っだきます。
- 自動たし湯はしません。
- 4時間後 (初期設定) 自動停止し、ふろ自動スイッチが消灯します。
- 台所リモコンのふろ自動スイッチも消灯します。

0～9時間の間で時間を設定する

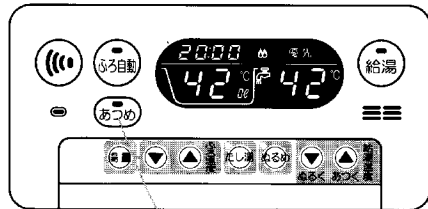
途中でやめたいときもう一度



押す

お風呂をあつくるには・・・追いだき編

自動保温中、または沸かし直し直後、もう少しあつく 싶 ったときに、スイッチ1つで追いだきできます。(設定温度プラス1～3℃まで)



浴室リモコンでできる機能です。



運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5 cm以上お湯が入っていることを確認する



循環アダプター

5 cm未満の場合、安全のため追いだきしないことがあります。(23ページ参照)

「あつめ」スイッチを押す



●設定温度より1℃高い温度まで追いだきます。

燃焼ランプ

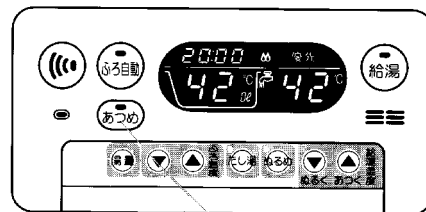


設定温度が点滅中に「あつめ」スイッチを押すごとにプラス1℃→プラス2℃→プラス3℃→切と温度を調節できます。

●その後自動的に止まります。

・・・沸かし直し編

前日の残り湯を沸かし直したいけれども、たし湯も保温も不要、というときはあつめ機能を使って沸かし上げます。(たし湯も保温もしたい場合は14ページ参照)



浴室リモコンでできる機能です。

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5 cm以上お湯が入っていることを確認する



循環アダプター

5 cm未満の場合、安全のため追いだきしないことがあります。(23ページ参照)

「あつめ」スイッチを押す



●ふろ設定温度まで追いだきます。

燃焼ランプ

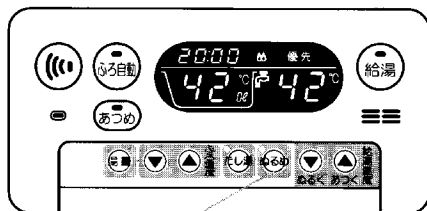


前回設定の温度

●その後自動的に止まります。

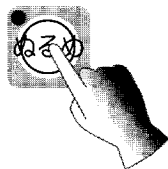
お風呂をぬるくするには

入浴時お湯の温度をもう少しぬるくしたいと思ったときに適量の水を給水して湯温を下げる機能です。



浴室リモコンで
できる機能です。

「ぬるめ」スイッチを押す



ふろ設定温度より約1℃下がる程度の
水（10ℓ）が入ります。



途中でやめたいとき
もう一度

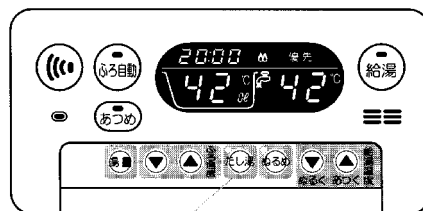
押す

●●●● ● 知っておいてね ●●●●

- 「ぬるめ」中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると水が出ます。

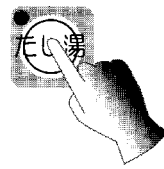
お風呂にお湯をたすには

お湯の量を増やしたいと思ったときに適量のお湯をたす機能です。



浴室リモコンで
できる機能です。

「たし湯」スイッチを押す



- ふろ設定温度のお湯を20ℓたし湯します。



- たし湯量が点滅中に「たし湯」スイッチを押すごとに20ℓ→40ℓ→60ℓ→切とたし湯量を調節できます。
- その後自動的に止まります。

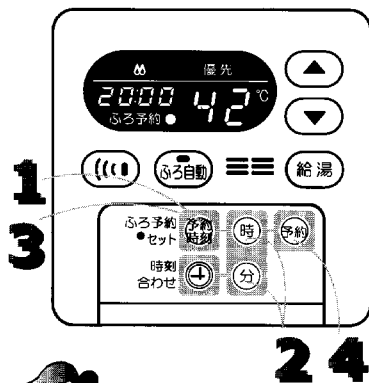


途中でやめたいとき
もう一度

押す

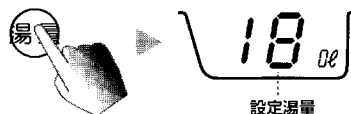
予約運転するには

設定された予約時刻までに、お湯はりを完了します。



運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める
2. 浴そうの循環アダプターにフィルターが付いていることを確認する
3. 浴そうのふたをする
4. 沸き上がり時のふろ温度を確認する (浴室リモコン)
5. 沸き上がり時のふろ湯量を確認する (浴室リモコン)



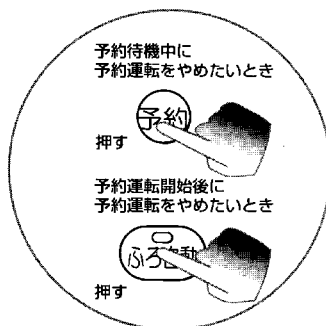
6. 保温時間を確認する (浴室リモコン・・・14ページ参照)
7. 現在時刻が正しいかどうか確認する



台所リモコンで
できる機能です。

知っておいてね

- 現在時刻から予約時刻までが30分以内で運転の予約をした場合には、すぐにお湯はりを開始しますが、お湯はり完了が予約時刻より遅くなります。また、運転の予約が予約時刻を過ぎていると、翌日の予約となりますのでご注意ください。
- 冬期、水温が低いときや、お湯はり中に他で給湯使用している場合などは、予約時刻よりも時間がオーバーすることもあります。
- 浴室リモコンのみの場合は予約運転はできません。



予約待機中に
予約運転をやめたいとき



予約運転開始後に
予約運転をやめたいとき



1 「予約時刻」スイッチを押す 前回設定の時刻 0:00 点滅 ふろ予約 ●	2 予約時刻を合わせる ●押し続けると連続して変わります。 例: 「午後9時30分」のとき 2:30 点滅 ふろ予約 ●	3 予約時刻を確認し、「予約時刻」スイッチを押す ●設定を記憶します。 現在時刻 20:00 消灯 ふろ予約 ○	4 「予約」スイッチを押す *お湯はり終了後、自動的に保温運転に入ります。 20:00 点灯 ふろ予約 ●
--	---	---	---

おふろと台所の通話のしかた

「呼び出し」スイッチを押す

●相手側のリモコンで呼び出しメロディが流れ、相手呼び出します。

●台所リモコン側からは「呼び出し」スイッチを押しながら通話します。

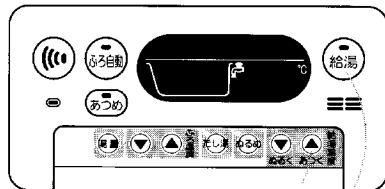
●浴室リモコン側からはハンズフリー（両手があいた状態）で通話できます。

●通話後はもう一度「呼び出し」スイッチを押して「切」にします。相手側のリモコンも運動します。

知っておいてね

- 「呼び出し」スイッチを「入」にしてから1時間で自動的に「切」になります。
- 通話中にリモコンのスイッチを押したり、燃焼ランプが点灯したとき、音声が続けられることがありますが異常ではありません。

ボイスガイド/操作確認音の音量調節のしかた

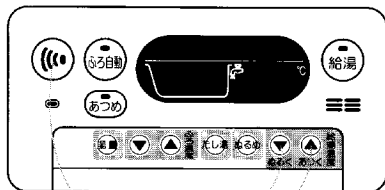


1 2

知っておいてね

- 操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
- 呼び出しメロディーは「小」のままで「オフ」にはなりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

通話の音量調節のしかた



1 2

知っておいてね

- 操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
- 停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

はじめに
浴室リモコン、台所リモコンどちらも「切」にする

1 ▲ を押しながらかつめを押す、2 給湯を押す

1、2を繰り返すたびに
ボイスガイド「オフ」+操作確認音「大」
→ボイスガイド「小」+操作確認音「小」
→ボイスガイド「オフ」+操作確認音「小」
→ボイスガイド「オフ」+操作確認音「オフ」
→ボイスガイド「大」+操作確認音「大」
→ボイスガイド「オフ」+操作確認音「大」
→ボイスガイド「中」+操作確認音「中」
→ボイスガイド「オフ」+操作確認音「中」...
と切り替わります。(初期設定は、ボイスガイド「中」+操作確認音「中」です。)

はじめに
浴室リモコン、台所リモコンどちらも「切」にする

1 大 を押す

2 ▼ を押すと「小」 ▲ を押すと「大」に音量が切り変わります。

(初期設定は「大」です。)

点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまで点検・修理を依頼してください。
- お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント(ご使用のたびに)

1. 給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか?
2. 機器のまわりに燃えやすいものはありますか?
3. 運転中に異常音は聞こえませんか?
4. 機器配管からガス漏れ・水漏れはありますか?
5. 外観に変色等の異常はありませんか?
6. 電源プラグにほこりがたまっていませんか?

お手入れのしかた(月に1回程度)

本体・リモコン	<p>水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る</p> <p>おねがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。 ●浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンは防水タイプではありません。
フィルター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環アダプターのフィルターを左に回してはずす 2. フィルターを掃除する <ul style="list-style-type: none"> ●目詰まりするとぶる沸かししない原因となります。 3. 元通りに取り付ける <p>警告</p> <p>フィルターを掃除した後は、必ず元のように取り付ける →はずしたまま使用すると、循環アダプターからの熱湯でやけどをするおそれがあります。また、機器が故障する原因にもなります。</p>

定期点検のおすすめ(有料)

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて4~6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。



エラーコードが表示されたら

1. 給湯栓を閉め、全てのリモコンを「切」にする。
5分程待ってから、再びリモコンの「給湯」スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。
2. それでもなおエラーコードが表示される場合、
●下記以外のエラーコードが表示される場合は3へ
●下記のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの「給湯」スイッチを「切」にする。
下記の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は3へ
3. 給湯栓を開め、リモコンを「切」にし、ガス栓、給水元栓を開めた後、お買い上げの販売店がお近くの
大阪ガスまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原因	処置
101	機器の給気口をふさいでいる	機器の給気口をふさいでいるものを取り除く
111	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
121	LPガスがなくなりかけている (LPガス使用の場合)	ボンベを交換する
331	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
161	水抜き後の再使用時の順番が違っている	26ページ「水抜き後再使用するとき」参照
322	循環アダプターのフィルターが目詰まりしている	循環アダプターのフィルターの掃除をする
252	お湯（水）が循環アダプターの上端より5cm以上漏たないのに、あつめスイッチを押した	循環アダプターの上端より5cm以上お湯（水）を漏たす 排水栓を確実に開める
	循環アダプターのフィルターが目詰まりしている	循環アダプターのフィルターの掃除をする
412	お湯はりしても設定湯量までお湯がたまらない	給水元栓を全開にする
		断水しているので通水するまで待つ

エラーコードが表示されていない場合

エラーコードが表示されていない場合は、下記の症状に応じた処置を行ってください。
それでもなお不具合のある場合やおわかりにならない場合は、お買い上げの販売店がお近くの大阪ガスまでお問い合わせください。

現象	原因と処置
リモコンのスイッチが点灯しない	●停電している（8ページ）電源プラグが抜けている
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない ●給湯栓をしぼりすぎている（流量が少なくなると消火します。） ●凍結している（25・26ページ） ●給湯スイッチが「入」になっていない ●機器から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出るまでに時間がゆかことがあります。 ●停電している（8ページ）電源プラグが抜けている
お湯はりができない お湯はりに時間がかかる	●給水元栓が十分開いていない ●停電している（8ページ）電源プラグが抜けている
途中で水になる	●給水元栓が十分開いていない ●停電している（8ページ）電源プラグが抜けている ●給湯栓をしぼりすぎている（流量が少なくなると消火します。）
低温のお湯が出ない	●水温が高いときに少量のお湯を得ようとすると、湯温が高くなります。 (給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。) ●給水元栓が十分開いていない ●湯温調節が適切でない（12・13ページ）
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない（12・13ページ） ●ガス栓の開きが十分でない
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きによりときどき水滴が落ちることがありますが、水漏れではありません。 (機器下面が濡れて困るときは、ビニールホース等で支障のない所へ排水してください。なお、ホースは中に水がたまらないように取り付けてください。)
排気口から白い煙が出る	●外気温が低いときに排気ガス中の水蒸気が白く見えますが、故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。約5分後に停止します。
循環アダプターよりポコポコとアツが出る	●配管内の空気が出てくるためで、異常ではありません。
冬期など寒いときにポンプが自動的に動く	●外気温が下がると自動的にポンプが運転し、凍結を予防します。（25ページ）

凍結を防ぐには

通常の寒さのとき

給湯側……凍結予防ヒータ

外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します
(無風状態で約マイナス20℃まで安心です。)



凍結予防ヒータ作動時、
ポンプ運転時は
電源プラグを抜かない

知っておいてね

機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口・湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

ふろ側 ポンプ運転

外気温が下がると、自動的にポンプで浴そうの水を循環させて凍結を予防するため、浴そう内の循環アダプターより5cm以上水を張っておいてください

知っておいてね

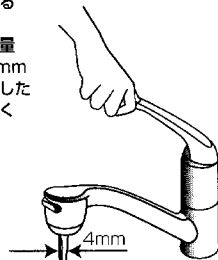
この方法はふろ配管も凍結予防できます。

冷え込みが厳しいとき

給湯側……給湯栓から水を流す

1. ガス栓を開める

2. 給湯栓より少量の水(太さ4mmくらい)を流したまにしておく



3. 流量が不安定になることがあるので、約30分後にもう一度確認する

知っておいてね

機器本体だけでなく、給水、給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

ふろ側……ポンプ運転

(左記参照)

凍結したときは

- 凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水もれや空だきなどのおそれがあります。
 - 凍結したときは解けるのを待ち、水もれや作動に異常がないか確認してからお使いください。
 - 凍結予防せずに凍結して、機器や配管を損傷させた場合の修理は有料となります。
- 凍結予防せずに凍結した場合の事故については当社では責任を追いかねます。

長期間使用しないとき

水を抜きます。

まずはじめに

- ① 浴そうの水を排水する
- ② リモコンを「切」にする
(2階浴室など、浴そうが機器より高い位置にある場合は、ふろ往水抜き栓をゆるめる)
- ③ 浴室リモコンの「湯量」スイッチを5秒間押し、リモコン表示部に「0F」が点滅したら手を離す
約5分後にブザーが鳴って「0F」が消えるのでそれまで放置する
- ④ ガス栓を開める

給湯側

- ⑤ 給水元栓を開める
(寒冷地域などで不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にする)
- ⑥ すべての給湯栓を開ける
- ⑦ 給水水抜き栓と給湯水抜き栓をはずすと水が抜ける

ふろ側

知っておいてね

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

- ⑧ ポンプ水抜き栓をゆるめる
 - ⑨ 配管水抜き栓、ふろ往水抜き栓、ふろ戻水抜き栓をゆるめる
 - ⑩ 電源プラグを抜く
- 再度使用するまでこのままにしておきます。

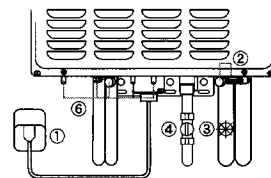
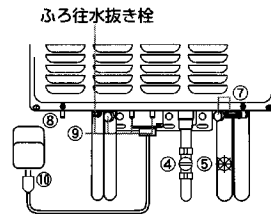
水抜き後再使用するとき

給湯側

- ① 電源プラグをコンセントに差し込む
- ② 給水水抜き栓と給湯水抜き栓を閉める
- ③ 給水元栓を開け、給湯栓より水が出ることを確かめてから、一旦水を止める
- ④ ガス栓を全開にする
- ⑤ リモコンの給湯スイッチを「入」にし、40～50℃くらいのお湯を給湯栓よりしばらく流す

ふろ側

- ⑥ ポンプ水抜き栓、配管水抜き栓、ふろ往水抜き栓、ふろ戻水抜き栓を開める
- ⑦ 「ふろ自動」スイッチを「入」にし、しばらくして循環アダプターよりお湯が出てくることを確認し、「切」にする



仕 様

型 番		131-P800型	131-P802型	131-P803型	131-P804型	131-P805型
型式名		T-2-1 (FH-242AWD)	T-2-2 (FH-242AWD3)	T-2-4 (FH-242AWD3-2)	T-2-1 (FH-242AWD)	T-2-3 (FH-242AWD4)
設置方式		屋外壁掛形PS標準設置形	PS扉内設置形	PS扉内前方排気延長形	PSアルミコープ設置形	PS扉内後方排気延長形
種類	設置方式	屋外用				
	給排気方式	先止め式				
電気関係	点火方式	連続スパーク点火				
	電源	AC-100V (50Hz/60Hz)				
	消費電力	別表参照				
	使用水压	80kPa～1000kPa				
	最低作動水压	10kPa				
給湯温度制御		比例制御				
最低作動流量		2.5ℓ/分				
本体(器体)寸法		高さ615×幅471×奥行195mm				
質量(本体)		29kg				
接続	給水	R3/4 (20A)				
	給湯	R3/4 (20A)				
	都市ガス	R3/4 (20A)				
	LPガス	R1/2 (15A)				
	追いだし(往き戻り)	R1/2 (15A)				
電源コードの長さ		1.5m	—			
別売品		浴室リモコン (138-P006)、リモコンセット (138-P005)、配管カバー (138-5043)、排気力バー (138-5044)、扉内取付ボックス (138-5045)				
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・空だし防止装置・空だし安全装置・残火安全装置・過圧防止安全装置・漏電安全装置・凍結予防装置・沸騰防止装置・電流ヒューズ				

使用ガス (ガスグループ)	型式名	ガス消費量 kW			出湯量 (最大) ℓ/分			消費電力 (50Hz/60Hz)
		給湯	ふろ	同時 使用	25℃ 上昇	40℃ 上昇	55℃ 上昇	
都市ガス用 13A	T-2-1 (FH-242AWD)	51.7	9.30	60.0	24.0	15.0	10.9	145W/170W
	T-2-2 (FH-242AWD3)							145W/170W
	T-2-4 (FH-242AWD3-2)							165W/195W
	T-2-3 (FH-242AWD4)							165W/195W
LPガス用	T-2-1 (FH-242AWD)	51.7	9.30	60.0	24.0	15.0	10.9	150W/180W
	T-2-2 (FH-242AWD3)							150W/180W
	T-2-4 (FH-242AWD3-2)							165W/195W
	T-2-3 (FH-242AWD4)							165W/195W

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

保管とアフターサービス

保管 (長期間使用しないとき)

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」26ページ参照)

アフターサービスについて

サービスを依頼 されるとき

23ページ「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店が近づく大阪ガスまでご連絡ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

1.ご住所・お名前・電話番号・道順 (付近の目印等)

2.型番・・・131-P800型・131-P802型

131-P803型・131-P804型

131-P805型

(右上のようなラベルが機器の正面左下部に貼り付けてあります。)

3.現象・・・できるだけ詳しく (エラーコードをお知らせください。)

4.訪問ご希望日

(N) 131-P800
大阪ガス株式会社

転居される場合

ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認の上、お買い上げの販売店が近づく大阪ガスまでご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電気の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証について

- 取扱説明書の最終ページに保証書がついています。保証書に記載されている保証期間・保障内容などを確認のうえ、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店が近づく大阪ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
- 補修用性能部品〈性能を維持するための必要な部品〉の最低保有期間は、製造打切後10年です。但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

製造月	
06	04-123456
製造年	製造番号

お問い合わせ先

- ※ 受付時間は、平日9：00～19：00、日祝日9：00～17：00となっております。
- ※ お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。
- ※ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

〈お客さまセンター〉

■大阪リビング営業部	〒550-0023	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	電話 0120-0-94817
■南部リビング営業部	〒590-0973	堺市堺区住吉橋町2-2-19	電話 0120-3-94817
■北東部リビング営業部	〒569-8569	高槻市藤の里町39-6	電話 0120-5-94817
■兵庫リビング営業部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1丁目8-2	電話 0120-7-94817
■京滋リビング営業部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺粟田町93	電話 0120-8-94817
■滋賀東支社	〒522-0074	彦根市大東町12-11	電話 0120-8-94817

おねがい
ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）もよりの大阪ガスにご連絡ください。